

令和8年2月号



春日部セントノア病院

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
<https://www.saintnoah-kasukabe.jp>



～目次～

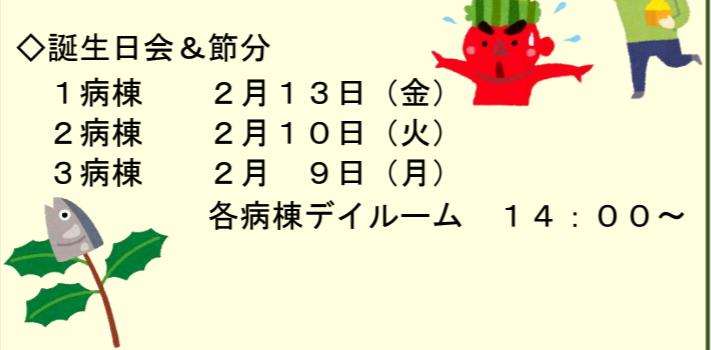
- 病院短信
- 日常の一コマ
- いきいき看護・介護
- 作業療法科だより
- 獅子舞・初詣
- スタッフ紹介

瓦井 洋
高井 正基
大谷内 文江
栗田 歩
病棟デイルーム
大塚 洋平

2月の予定

◇誕生日会＆節分

1病棟 2月13日（金）
2病棟 2月10日（火）
3病棟 2月 9日（月）
各病棟デイルーム 14：00～



2026年は冬季オリンピック、野球WBC、サッカーW杯とスポーツの国際大会が多く、スポーツ観戦が趣味の私にとって楽しみで仕方がありません。私は以前フットサルをやっていましたが、コロナをきっかけに集まることが難しくなり、体を動かすことが減ってしまいました。今年はしばらく行けていないスポーツ生観戦と運動に取り組み、心身ともに鍛えられたらなと思っています。

『認知症の専門病院として（その二）』

セントノア病院 創業者 瓦井 洋

前回は私が今から三十五年ほど前に、千葉の病院で初めて認知症の患者さんに会った日の話をしました。結局その患者さんを始め、四人ほど入院していた認知症の患者さんたちは、全て退院させて、現在でもその病院は認知症患者の受け入れはしていないという話でした。

確かに高齢者専用の病棟とはいえ、認知症患者さんと一般の患者さんとの「吳越同舟」には、やはり無理があるのも事実です。だからと言って、認知症の患者さんたちを全て拒否してしまうというのはどうなのでしょうね。ここでも病院側の傲慢さが鼻に付きます。

さて、千葉の病院に対してのモヤモヤはともかく、次に頼まれて赴任した神奈川の病院では、行ってみたら倒産寸前で、私を呼んだのは再建のためではなく、どうも倒産の後始末をする人間が欲しかったようです。だからと言ってこのまま倒産という事になれば、入院してい百五十人を超える患者さん達はそれこそ「野ざらし」になってしまいます。それを避けるには、早急に患者さん達を「野ざらし」にすることもなく、医者やスタッフ達もほぼ全員が残ってくれて、患者さんたちも今まで通りに入院生活を続ける事が出来るようになりました。もちろん医療も看護介護も当然、今までと変わりなく受けられます。そこで私は心の中に、あの千葉の認知症患者を全員退院させてしまった某病院のモヤモヤが少なからず残っていて、私も泣いて土下座をしたご家族の事がどうし

政府に向かいました。そしてその行政庁の担当者に会わせて頂き、胸に秘めた一つのやり方を伝えました。そしてこのやり方に許可を頂けないのなら、私はこの病院から手を引きます。とごく穏やかに？談判をしました。もしかしたらこの私の談判は、半分脅しに聞こえたかもしませんね。

その脅しに聞こえたかもしれないやり方とは、この病院の「廃院届け」を出すと同じ日に、新しい経営者のもとで、新規の「開院届け」を同時に出して開院の許可を出して頂くという、おそらく前代未聞のかなりの荒技を使ふことでした。このやり方の是非はともかく、その時の私は、何があつても患者さんを「野ざらし」にしてはならない、という強い信念がありましたからね。その強引な奇策、荒業の結果は、百五十余名の患者さん達を「野ざらし」にすることもなく、医者やスタッフ達もほぼ全員が残ってくれて、患者さんたちも今まで通りに入院生活を続ける事が出来ました。もちろん医療も看護介護も当然、今までと変わりなく受けられます。そこで私は心の中に、あの千葉の認知症患者を全員退院させてしまった某病院のモヤモヤが少なからず残っていて、私も泣いて土下座をしたご家族の事がどうし

そうです。

当院では、患者さんと職員は毎朝ラジオ体操で深呼吸を行っていますが、今回はこの深呼吸についてまとめてみました。

「深呼吸は吐く」事から始めるのが良いそうです。ゆっくり息をお腹の底から、汚れた空気を押し出すイメージで吐き出し、次に鼻からゆっくり新鮮な空気を吸い込みます。これを繰り返すのが効果的な深呼吸と言われています。

いきいき看護・介護

2病棟

看護師

大谷内 文江

深呼吸には驚くべき「健康増進効果」があるで深呼吸を行っていますが、今回はこの深呼吸についてまとめてみました。

当院では、患者さんと職員は毎朝ラジオ体操で深呼吸を行っていますが、今回はこの深呼吸についてまとめてみました。

「深呼吸は吐く」事から始めるのが良いそうです。ゆっくり息をお腹の底から、汚れた空気を押し出すイメージで吐き出し、次に鼻からゆっくり新鮮な空気を吸い込みます。これを繰り返すのが効果的な深呼吸と言われています。

効果とは

- ①体が活性化して元気になる
- ②リラクゼーション効果
- ③睡眠の質がアップ
- ④喉が乾燥する時期は痰を切る効果も期待できます

当たり前のようにしている息も深呼吸を意識して行うだけで体に良い効果があります。皆さんも良い呼吸をしてみて下さい。



趣味全般から遠ざかるようになりました。もちろんお酒を飲む機会もめっきり減ってしまったそうです。何度も同じことを言うような物忘れもみられたため、いくつかの病院を受診するとアルツハイマー型認知症・正常圧水頭症と診断され、利用していたデイサービスやショートステイでも利用困難となり、当院への入院となりました。

入院当初、歩行は安定しており、食事も自力で召し上がる等ADL（日常生活動作：食事、移動、着替え等生活に最低限必要な基本動作）は良好で、歌がとにかく上手でよい声をしていらっしゃるので、レクリエーションの時はいつも聞き入っていました。しかしその歌声が大き過ぎたり、本人に悪気はありませんが他者に触れようとする行為があり、トラブルになることもあります。そんな時喜昭さんを落ち着かせようと飲み物を持っていくのですが、決まって言ってくれる言葉があります。

ダンケシェーン Danke schön（ドイツ語で「どうもありがとう」の意味）。そしてこちらが何か作業している時も「大丈夫？頑張ってよ」と優しく声をかけてくれます。入院から4年以上経ち今は車イスを使用されていますが、元気な歌声と紳士的な声掛けは変わりません。

これからも喜昭さんが楽しく歌えて、ダンケシェーンをたくさん言ってもらえるような病棟であり続けられるよう、お手伝いさせていただきたいと思います。

2病棟 介護福祉士 高井 正基

作業療法科 だより

作業療法士 栗田 歩

週に一度、アクティビティの会を行っています。アクティビティとは活動を意味し、とても幅広い意味をもちます。その名の通り、『やってみたいことを何でもやってみましょう！』という会です。ただ、患者さん側からやりたいことを具体的に発信される事は少ないため、生活歴や会話の中からその方が興味を持って出来うことを見つけ提案しています。

今は、大人の塗り絵・数独・クロスワード・書道を行っています。塗り絵では、様々な題材の塗り絵の中から「これ素敵！」「細かくて難しそうだけど…やってみようかな」と患者さん自身で悩みながら選び出し取り組されます。僅かなはみ出しあるといふ意気込みで几帳面に取り組む方・たくさんの色を重ね試行錯誤される方など、皆さんとても個性豊かで素敵な作品を上げて下さっています。数独を行う方は、以前趣味として行っていたけれども「最近は解けなくなっちゃって…」と話されていました。そこで大きく見やすくし難易度をやさしくすることで「あら！出来たよ！」と自信を持たれた様子で、毎週新たな数独に挑んでいます。

活動中は皆さん真剣な面持ちで黙々と取り組れます。仕上がりを見て「なかなか素敵に出来たんじゃない」と自身の作品に満足されたり、時には「ここがちょっと納得いかなかつたなあ」と少し悔しがり反省を口にする方も。デイルームの壁には、そんな皆さんの素敵なお絵かきが飾られています。

